

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2025 年 No.2

シンガポール通信

～シンガポールの日本酒市場～

アセアントピックス（ベトナム）

～ベトナムの電子決済動向について～

アセアンコラム

～世界一の空港「チャンギ空港」～

～手持ち扇風機の人気の高まり～

～ベトナムで急増中？「ピクルボール」の魅力～

ニュース一覧



常陽銀行



足利銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

シンガポール通信

～シンガポールの日本酒市場～

- 東南アジアの経済の中心であるシンガポール。1人あたりの GDP は 80,000USD（円換算 11,500,000 円）を超えており、アジア屈指の高所得国となっています。
- 2024 年には「日本の伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産として登録され、日本酒の認知度向上によって追い風となることが期待されています。
- 今回は日本からの輸出量で世界第 6 位となっているシンガポールの日本酒市場の現状と当行の取り組みについてレポートします。

＜2024 年国別輸出金額及び数量トップ 10＞

図 1

国	金額 (百万円)	数量 (百万ℓ)
中国	11,671	5,322
アメリカ	11,441	8,002
香港	5,116	2,015
韓国	3,743	4,894
台湾	2,670	2,889
シンガポール	1,483	701
カナダ	1,040	925
オーストラリア	782	677
英国	637	422
フランス	551	436

図 2

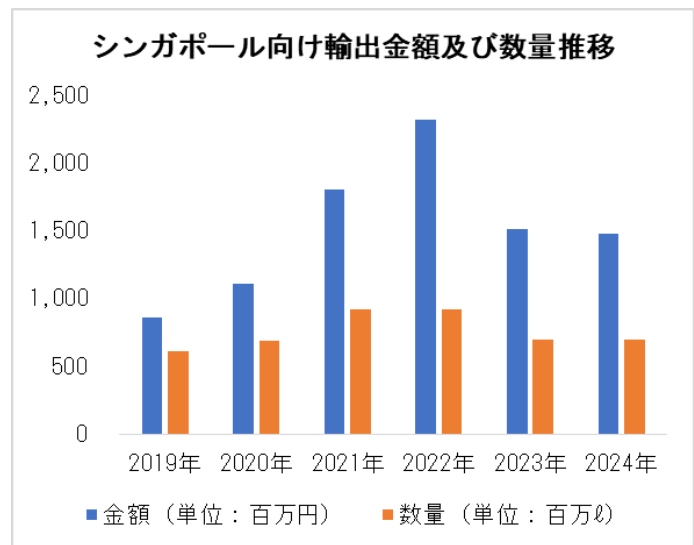


図 1、図 2（出所）財務省貿易統計

シンガポール向け日本酒輸出額

財務省貿易統計によると、2024 年のシンガポール向けの日本酒輸出額は約 15 億円と世界で第 6 位、アセアンでは第 1 位と同国は重要な輸出先です。しかし 2022 年の 23 億円をピークに、翌年には 15 億円と大きく減少しています。この減少は、前年までの急激な増加の反動に加え、景気低迷による消費意欲が減退したことが要因と言われています。またコロナ禍以降、本格的に海外旅行が再開され、さらに円安の影響も相まって、シンガポールからの訪日旅行者数は 2023 年以降、2 年連続で過去最高を更新するなど、大きく増加しました。その結果、本場日本で日本

酒を飲む機会が増え、逆にシンガポール国内での消費が減少してしまったのではないかと考えられています。

日本酒の市場規模

シンガポールのアルコール飲料全体の市場規模は推定 38 億 SGD 程度（円換算約 4,000 億円）と言われており、日本からの輸出額を勘案すると日本酒のシェアはごくわずかであることが分かります。シンガポールではビールやワインが主流であり、日本酒は一部のコアなファンは増えてつつあるものの、まだまだ認知度が低いのが現状です。同じ東アジアからの輸入酒としては K-POP や韓国ドラマ人気を背景に、ソジュ（韓国焼酎）の

方が若年層を中心に認知度は高い印象があります。

2024 年に「日本の伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは Strait Times や CNA などの現地主要メディアでも報道されており、日本酒の認知度向上に一定の効果があると期待していますが、消費者の裾野拡大には、現地での継続的な PR 活動が必要だと考えています。



SAKF MATSURI 2024

現地でのイベント

シンガポールでは日本酒の認知度向上及び市場拡大を目指し、日本酒関連のイベントが多数開催されています。その中でも代表的なのが「SAKE MATSURI」です。お酒の試飲及び気に入った商品をもその場で購入出来るイベントで、有料（前回は約 60SGD：約 6,600 円）にも関わらず、3 日間の開催で約 2,500 名が来場しました。

イベントには多くのシンガポール人が来場しており、賑わいを見せていました。主催者の発表によるとイベント期間中の販売総額は300,000SGD（約 3,300 万円）にも上り、現地の人々に商品を知ってもらう絶好の機会となりました。

料理とのペアリング

当地では日本酒を食中酒として楽しんでもらうべく、和食レストランを中心に料理とのペアリングイベントも盛んに行われています。単なる試飲ではなく、料理との相性を楽しむことができるほか、実際に蔵元やソムリエから商品の説明を受けられることなど、シンガポールにいながら、日本の文化を体験できるため、現地の人々から人気を博しています。特にシンガポール人は商品のストーリー性や食との相性を大事にする傾向があ

るため、こうしたイベントは効果的なようです。

当行の取り組み

昨年 11 月、当行は現地商社等と連携し、当地にて酒蔵参加型の試飲販売プロモーションを開催しました。来場した約 30 名の食品バイヤーや一般消費者に対して商品を PR し、その場でフィードバックを得ました。

また、会場に試飲機を導入することで、来場者が気軽に試飲し、購入できるようにしました。これにより、消費者は購入前後のイメージと味の mismatch を事前に防ぐことができ、酒蔵にとっては各商品の参入可能性を効率的に把握し、次の商品戦略を検討しやすくなる等の有効性を確認することができました。

イベントに参加した酒蔵からは「来場者との対話を通じて、一般的な展示会等では得られないリアルな声を収集でき、非常に有意義だった。」との評価を頂きました。

また、来場者からは「作り手と接する機会は少ないのでとても有意義だった。日本酒に関心はあっても、決して安い商品ではないため、どれを買うべきか悩んでしまう。今回は購入する前に試飲ができたので、好きな日本酒を選び、



当行主催のイベント

購入することができ、とても満足。」との意見を頂き、参加された酒蔵が販路開拓を進める上で良いきっかけになったのではないかと感じています。

今後の展望

シンガポールでは既に多くの日本酒が流通しており、競合は激しさを増しています。継続的に商品を販売することは容易ではありませんが、新たな顧客層の取り込み次第では、輸出拡大が図れる可能性もゼロではありません。

その中で、和食以外の料理とのペアリングでワイン愛好家層向けに新たな市場を創出する取り組みや、日本酒を飲む割合が比較的少ないと言われる女性をターゲットに低アルコールの商品やフルーティで飲みやすいものを提供する取り組みなどが広がりつつあります。

おわりに

今回はシンガポールにおける日本酒市場の現状と当行の取り組みについて、レポートしました。

当行では今後も関係機関等と連携し、お客さまの海外販路開拓支援に取り組んでまいりますので、お気軽にご相談ください。

常陽銀行シンガポール駐在員事務所

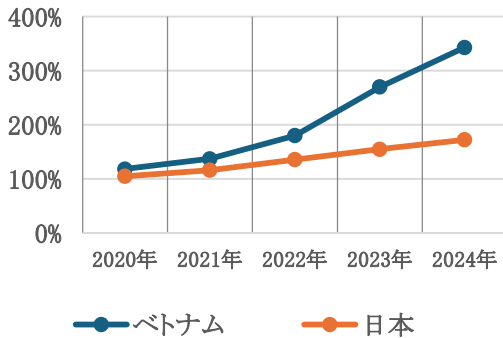
東 雅也

アセアントピック

～ベトナムの電子決済動向について～

- ▶ ベトナム国内における 2024 年の電子決済額は、5 年前と比較すると 343%増加しており日本の成長率を大きく上回っています（表 1）。
- ▶ 今回はベトナム国内で急拡大している電子決済市場の動向や市場拡大の背景についてお伝えします。

百万円 電子決済市場の成長比較
(2019－2024)



(表 1) 電子決済成長率(2019 年を基準に各年の成長率算出)
出所: ベトナム中央銀行・経済産業省



(写真 1) ローカル店の風景 筆者撮影



(写真 2) ローカル店の風景 筆者撮影

トラディショナルトレード

伝統的小売りと呼ばれ、個人商店や屋台、市場などの店舗形態を指します。商品の陳列や決済はアナログな手法が多く、現金取引が主流です。

モダントレード

近代的小売りと呼ばれ、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ショッピングモールなどが該当します。商品管理や在庫管理がシステム化されており、電子決済が普及しています。

QR コード※決済の浸透

ベトナムでは現金での支払いはもちろん、電子決済の利用が進んでおり、特に QR コード決済が浸透しています。この QR コード決済についてはスーパーやレストランのほか、路上で食べるローカルフード店（写真 1）や自動販売機（写真 2）など少額の取引額でも利用可能であり、街中では QR で決済を行う人を多く見かけます。このように電子決済市場が拡大している背景には、政府が掲げる電子決済化政策や電子決済サービス業者の施策、小売市場の変化があります。

電子決済政策

ベトナム政府は 2021 年 10 月に電子決済を促進する政策「通達 1813/QĐ-TTg」を発表しました。本通達は、決済インフラの整備や、取引の透明化によるマネーロンダリングの抑制を目的としています。2025 年末までに以下の目標を達成することを掲げています。

2025 年末までの目標

- ✓ EC 取引の電子決済割合を 50%とする
- ✓ 15 歳以上の 80%が銀行口座を保有する
- ✓ 電子決済の利用可能店舗を 45 万店舗とする

尚、2024 年末時点での 15 歳以上の銀行口座保有率は 87%に達し、政府目標をすでに上回っています。また銀行口座保有率の増加に伴い電子決済市場が拡大しています。

電子決済サービス業者の施策

ベトナムの電子決済サービス業者では、日本の PayPay などと同様に決済サービス利用時の割引やポイント還元など、利便性の高いサービスを提供しており、利用者が増加しています。また事業者にとっては、アプリ内広告の宣伝効果やコスト負担の少なさから、電子決済の導入が積極的に進められています。

小売市場の変化

ベトナムでは近年の経済発展や都市化により、小売市場におけるトラディショナルトレード（現金取引が主流）の割合が減少し、モダントレード（電子決済が主流）の割合が高まっています。また都市部のトラディショナルトレードにおいても、事業者側の導入メリットが大きいことから電子決済が急速に普及しています。このような小売市場の変化が、電子決済サービスの拡大を後押ししている要因です。

まとめ

ベトナムの電子決済は、スマートフォンの普及や決済手段の進化、販売チャネルの多様化により、さらなる市場拡大が見込まれます。めぶきフィナンシャルグループでは、今後もベトナムの市場動向についてレポートしてまいります。

ホーチミントレーニー

大井 航平

アセアン駐在員コラム



～世界一の空港「チャンギ空港」～

シンガポールの玄関口である「チャンギ空港」をご紹介します。現在ターミナルは4つですが、今年からターミナル5の建設が開始される予定です。2030年には200都市への就航（現在は約150都市）を目指しており、英国のスカイトラックス社世界の空港ランキングでは2年ぶりに総合1位に輝きました。東南アジアで最も旅客数の多いハブ空港であり、昨年からは国民、永住権、ビザ保持者など一部を対象にパスポートの提示なしで顔認証での出入国が始まりました。

空港内には多数のラウンジ、スパ、プレイグラウンド、映画館などがあります。ターミナル1から3はエアポートシャトルで移動できますので、トランジットの方も飽きずに楽しむ事が出来ます。空港に隣接している巨大複合施設ジュエルでは買い物、飲食はもとより、屋内庭園、7フロア貫く滝があり、在住者にも人気があるスポットになっています。



常陽銀行シンガポール駐在員事務所
現地スタッフ 関 順



～手持ち扇風機の人気の高まり～

1年を通じて高温多湿な熱帯性気候であるタイでは、涼しさを感じることができる手持ち扇風機の人気が高まりつつあります。

交通渋滞が日常的に発生する首都バンコクでは、政府主導による電走路線網の整備が進んだことにより、現在では通勤・通学などにおいて多くの人が電車を利用しています。電車での移動は交通渋滞を回避できるメリットがある反面、降車後の徒歩移動や乗車前の整列など、屋外にいる時間が相応にあります。

母国の気候でありながらも、暑い場所を好まないタイ人の性格もあいまって、手持ち扇風機を携行する人が増えており、私も外出時には欠かせず持ち歩いています。1年中暑いタイに旅行する際には、手持ち扇風機も持ってくると、より快適に過ごすことができると思います。



足利銀行バンコク駐在員事務所
現地スタッフ
ウパラパン・ティティチャヤー



～ベトナムで急増中？「ピックルボール」の魅力～

皆さん「ピックルボール」というスポーツをご存じですか？ベトナムでは、2024年から流行し始めた米国発のピックルボールですが、スポーツ愛好者だけでなく幅広い年齢層から支持を集めています。ピックルボールは、テニスとバドミントンを融合させたようなルールで、初心者でも手軽に楽しめる点が人気の理由です。

最近では、特に女性を中心にスタイリッシュなイメージと誰でも楽しめる手軽さが支持され、インフルエンサーによるSNS発信が流行を後押ししています。ベトナムにおける健康志向の高まりや、運動不足の解消、社交の場としての機能も備えていることから、10～20代の若年層を中心に熱狂的なファンを獲得しています。

2025年には、ピックルボールの第1回ベトナム全国大会が開催されるなど、今ベトナムで最も注目が集まるスポーツと言えます。



常陽銀行
ホーチミントレーニー
山根 宗樹

アセアン各国ニュース

〈経済関係NEWS〉

シンガポール



- (4/15) 金融緩和を実施、インフレ予想は下方修正
- (4/15) 1～3月のGDP成長率3.8% 下期にかけさらに減速、米関税打撃

マレーシア



- (4/8) 米相互関税で5万人が失業、国際商議所予想
- (4/9) 外資準備高1175億ドル、半月で5億ドル減

タイ



- (4/8) 米相互関税の損失GDP比1.9%、商工大
- (4/9) 相互関税の影響8000億バーツ超、工業連盟

インドネシア



- (4/8) 相互関税への報復措置なし政府方針、経済押し下げは軽微か
- (4/9) 3月の物価上昇率1.03%予測より下振れ、政府目標下回る

フィリピン



- (4/4) 米、比に17%の相互関税域内では低水準、商機との見方も
- (4/11) 中銀、金利0.25%引き下げ2会合ぶり、物価上昇圧力緩和

ベトナム



- (4/8) 成長率6.9%、コロナ後最高1～3月、米関税で先行きに不安
- (4/14) 3月対米輸出32%増、増税前に駆け込み

〈その他NEWS〉

シンガポール



- (4/11) 世界空港ランキング、チャンギが首位に返り咲き
- (4/14) 24年の観光収入298億ドル、過去最高水準に

マレーシア



- (4/14) 2月の製造業売上高4.7%増、14カ月連続プラス
- (4/15) 1～2月の外国人観光客数、31%増の670万人

タイ



- (4/8) 外国人観光客、3月272万人に増加
- (4/11) 倒壊ビルの死者22人、行方不明者は72人

インドネシア



- (4/15) 3月の二輪車販売54万台、前年同月比7%減
- (4/15) 3月の新車販売7万台、前年同月比5.1%減

フィリピン



- (4/10) クラーク国際空港、自由港区に医薬物流拠点
- (4/15) 新車販売7%増、1～3月過去最高、利下げも追い風

ベトナム



- (4/14) 1Q二輪販売67万台、4四半期連続前年超え
- (4/15) チュオンハイ、ビンズオン省で工業団地建設

(出所 NNA・亜州ビジネス)

MEBUKI の海外ネットワーク

めぶきフィナンシャルグループ

めぶきフィナンシャルグループでは、お客さまの海外ビジネスをサポートさせていただきます。
常陽銀行、足利銀行の海外ネットワークをぜひご活用ください。

常陽銀行 上海駐在員事務所

所在地 上海市延安西路2201号
上海国際貿易中心1901室
電話 +86-21-6209-0258

常陽銀行
上海代表处
THE JOYO BANK, LTD.

足利銀行 香港駐在員事務所

所在地 Suite 1601, 16th Floor, Tower2,
The Gateway, Harbour City,
Kowloon, Hong Kong
電話 +852-2251-9475

THE ASHIKAGA BANK, LTD.
HONG KONG REPRESENTATIVE OFFICE

常陽銀行 ニューヨーク駐在員事務所

所在地 1270 Avenue of the Americas,
Suite#555, New York, NY 10020
電話 +1-917-388-2400

THE JOYO BANK, LTD.
NEW YORK REPRESENTATIVE OFFICE

常陽銀行 ハノイ駐在員事務所

所在地 5th Floor, Sun Red River,
23 Phan Chu Trinh Street,
Hoan Kiem District, Hanoi
電話 +84-24-3218-1668

THE JOYO BANK, LTD.
HANOI REPRESENTATIVE OFFICE

常陽銀行 シンガポール駐在員事務所

所在地 10 Collyer Quay, #09-07A,
Ocean Financial Centre,
Singapore, 049315
電話 +65-6225-6543

THE JOYO BANK, LTD.
SINGAPORE REPRESENTATIVE OFFICE

足利銀行 バンコク駐在員事務所

所在地 689, Bhira Tower at EmQuartier,
27th Floor, Room No. 2714, Sukhumvit Road,
Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110
電話 +66-2-261-2852

THE ASHIKAGA BANK, LTD.
BANGKOK REPRESENTATIVE OFFICE



主な提携先	常陽銀行	足利銀行	提携先の主な業務内容
● 日本貿易振興機構 (JETRO)	●	●	海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度等の情報提供
● 国際協力機構 (JICA)	●	●	途上国での海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度情報の提供
● 国際協力銀行 (JBIC)	●	●	海外展開支援融資の提供
● 日本貿易保険 (NEXI)	●	●	輸出入取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
● 中小企業基盤整備機構	●	●	海外事業展開に関する各種情報提供・各国制度等の情報提供
● 東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供、リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供、各種損害保険の提供
● 損害保険ジャパン	●	●	海外リスク情報等の提供、リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供、各種損害保険の提供
● 三井住友海上火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供、リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供、各種損害保険の提供
● セコム	●	●	海外での安全システム・防犯機器商品の提供、海外セキュリティサービスの提供
● 総合警備保障	●	●	海外での安全システム・防犯機器商品の提供、海外セキュリティサービスの提供

国・地域	主な提携先	常陽銀行	足利銀行	提携先の主な業務内容
東アジア	中国	●	●	中国に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	台湾	●	●	台湾に関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
東南アジア	タイ	●	●	タイに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	インドネシア	●	●	インドネシアに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	ベトナム	●	●	ベトナムに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
	フィリピン	●	●	フィリピンに関する各種情報の提供、口座開設をはじめとした各種金融サービスの提供
中米	メキシコ	●	●	メキシコに関する現地市場情報・投資情報の提供

Disclaimer

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部

足利銀行市場国際部

常陽銀行シンガポール駐在員事務所

10 Collyer Quay, #09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315

TEL:+65-6225-6543

E-mail : singapore@joyobank.co.jp

足利銀行バンコク駐在員事務所

689, Bhira Tower at EmQuartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road,

Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110, Thailand

TEL:+66-2-261-2852

E-mail : bangkokrep@ashikagabank.co.th

常陽銀行ハノイ駐在員事務所

5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam

TEL:+84-24-3218-1668

E-mail : hanoi@joyobank.co.jp